

2007年8月2日
学校法人法政大学

日本初の植物医科学専門教育を開始

法政大学は、来春(2008年4月)より、新設の生命科学部において、日本で初めての植物医科学の専門教育を開始する。

<社会的背景>

世界を見ると、農作物の3割以上が、植物病原菌、害虫などによる植物病によって失われており、植物病原菌の問題を解決するだけで約8億人の人口を養えると試算されている。植物は、食料の供給以外にも、最近、世界的な動きとなっているバイオ燃料の生産、ガーデニング・家庭園芸、温暖化防止対策として注目を集めているビルの屋上緑化や壁面緑化、観光レジャー施設や公園などに不可欠な花壇や緑地など、社会のあらゆる場面でその利用が拡大することは確実とみられる。このため、植物を健康に育てるための高度な専門知識を持つ、植物医師ともいえる技術者の社会的な需要は確実に増加していくものと判断し、新しく植物医科学の専門教育を開始することとした。

<教育の内容>

生命科学部は生命機能学科と環境応用化学科の2学科で構成される。生命機能学科は、基礎研究・教育を担当する生命機能学専修と、応用・実践的な研究・教育を担当する植物医科学専修より成り、3分野が緊密に連携したユニークな研究・教育体制を発足させる。また、東京大学に昨年設置された植物医科学研究室と緊密な連携を図りながら、社会に役立つ技術の開発、役立つ技術者の育成を重点目標として、植物医師の養成を目指す。

なお、植物医科学が対象とする食料問題や環境問題の解決は、単なる技術教育だけでは不十分であり、関係法令や政策、国際動向、ビジネスなど社会科学領域の教育も重視する。また、農薬に関連して、食品安全や環境・生態系保全に関する教育科目も準備して、社会の幅広い要請に応えることが出来る技術者の養成に努めることとしている。

生命科学部生命機能学科植物医科学専修概要

1. 募集定員

2008年度 募集定員 60名

2. 教育の特徴

- (1) 専門家(植物医師)の養成のため、4年間の一貫教育を行う。
このため、1年次より、一般教育科目に加えて、専門科目の教育を行う。
- (2) 実験・実習を重視した実践的教育を行う。
1年次より専門的実験科目を履修する。
- (3) 早期にキャリア教育を開始する。
1年次よりキャリア教育科目を配置し、また、産業界や外部研究機関等と連携したインターンシップを実施する。
- (4) 即戦力となる人材養成のための教育を行う。
公的資格(技術士、樹木医)や理科教員免許取得に向けた教育を重視する。

3. 取得可能な資格

全ての専攻生は植物保護を専門とする「技術士(補)」の資格取得を目指すこととしている。また、樹木保護に関する指導を行う「樹木医」の資格取得を目指す専攻生のために、「樹木医補」資格養成機関の登録を申請中である。

4. 活躍の場

食料生産流通(作物保護技術指導部門、農薬・医薬品製造業、公立試験場、食品製造加工業、食品輸入・流通販売業、農林業)、園芸・ガーデニング(種子・種苗業、花き園芸生産・販売、花輸入流通業、造園業、屋上緑化・都市緑化産業)、環境保護(森林管理、自然公園緑地管理、生態系保全管理指導)、レジャー・観光(ゴルフ場、アミューズメントパーク、体験型農園)、バイオテック産業、園芸セラピー施設など。